

新型コロナウイルス感染症関係のほけんだより第3弾です。その1、2は読んでもらえたでしょうか。手洗いをして、規則正しい生活をして…。残念ながら、それでも感染することがあります。

今回は、「広めない！！」行動その1として、マスクの使い方をご紹介します。陽性と診断された人のなかには、無症状の人も多くいるようです。自分で気づかないうちに、誰かにうつしてしまうことのないよう「自分は感染者かもしれない・・・」という意識をもって生活することが大切です。

【マスクを正しく使う】

マスクは、自分を守るだけでなく、まわりの人も守るということを知っていましたか？ マスクをしている時としていないときでは、空気中に出る飛沫の量が大きく違います。



2,3年生,コレ
覚えてますか？

新型コロナウイルスを含む感染症の多くは、感染者の「飛沫」を吸い込むことで感染が広がります。感染者がマスクをつけると、この飛沫を70～80%抑えることができ、感染拡大防止に、とても有効なのです。

対処方法	マスクなし	マスクあり		
マスクの種類		不織布 	布マスク 	ウレタン
	吐き出し飛沫量			
	100%	20%	18-34%	50%前後

マスク着用に関して双葉生はよく理解できているため、通常の学校生活においては、今までどおりで問題ありません。

注意してほしいのは、**食事や部活中**です。やむを得ずマスクを外しますが、感染のリスクがあることは忘れないでください！！「もし自分が感染者だったら…」を考え、**マスクなしでの近距離での会話**や、**回し飲み**などは、絶対にやめましょう。

